

笑いあり、感動ありの 3年間に感謝!!



大洲市産業経済部商工業課
川渕 博之

■センターでの勤務

私は、平成23年4月から平成26年3月までの3年間で、(公財)えひめ地域政策研究センター(以下、センター)でお世話になりました。そもそも、ここでお世話になることになったキッカケは、平成22年度に受講した「地域づくり人養成講座」で、当時の所長から「川渕くん、うちのセンターに来る気はないかい?」とお声を掛けてもらったこと

から始まり、私にはある意味新鮮で、それぞれが違う考え方や価値観を持っているため、役所内では当たり前であっても役所外では通用しないようなこともたくさんありました。また、違った視点で物事を見ることができ、いろいろな面で成長させていただいたように感じています。

■「地域づくり人養成講座」

センターに来て、最初に受け持った事業が「地域づくり人養成講座」でした。前々年までは受講生の立場であったのに、翌年には運営スタッフとして講座に参加するなんて、何というか不思議な感覚だったのを

センターでの仕事風景



「もちろん、行きたいです」と回答し、後日、人事担当課へ直談判をしました。「行ってみたい」「もっとうるな」といろいろ思う思いが



平成23年度地域づくり人養成講座の様子

は私にとって宝物であり、生涯大切にしていきたいと思っています。
講座の運営にあたり、熱心にご指導いただきました前田眞先生にはこの場をお借りして深くお礼申し上げます。

■私にとっての「地域づくり」とは？

センター在籍1年目の時にある方からこんなことを聞かれました。「地域づくり、地域づくりって言われていますけど、あなたが思う「地域づくり」って何ですか？」その時、私は返す言葉が見つかりませんでした。そんなに深く考えたこともなく、地域で何かしら活動をしていたら地域づくりなんだろうと思っていたぐらいです。そんな時、自分が担当していた「地域づくり人養成講座」でお世話になった、「託老所あんき」の中矢暁美さんのお話の中に「自分が住んでいる地域で人間らしく死ぬる」という言葉がありました。この言葉から、自分が目指す理想の「地域づくり」は、「この地域が大好きです」とここに住んで最期を迎えたいと思える地域にすること「なんだ！」という答えに辿りついたのです。例えば、他所から帰ってきた時に「ホッとする」「居心地がイイ」とか、そんな単純なことからでもいいので、少しでも自分の理想に近づけるよう今後も地域づくりに関わっていききたいと思っています。

■最後に

センター在籍中に関わっていただきました

た全ての皆様に深く感謝するとともに、これからも引き続きご指導をいただきますようお願いいたします。

また、センターの皆様には何かとご迷惑をおかけしましたが、笑いあり感動ありの3年間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。騒がしい輩がいなくなつて、さぞかし寂しいと思います。(笑)

最後になりますが、センターの今後益々のご発展を心からお祈りしております。

■余談ですが・・・

現在、私が取り組んでおります業務の一部について少しご紹介をさせていただきます。

平成26年9月13日に山形県中山町で「第7回元祖芋煮会 in 中山」日本三大芋煮会」と題したイベントが開催されました。このイベントは山形県中山町誕生60周年を記念して開催されたもので、山形県中山町の「芋棒煮」と島根県津和野町の「芋煮」、そして大洲市の「いもたき」が一堂に会し、それぞれの伝統料理である「いもたき(芋煮)」を来場者400名に振舞い、大盛況に終わりました。
ちなみに来年度は、愛媛県大洲市にて開催を検討しています。



大洲のいもたき



大洲グルメPRキャラクター「O級くん」



第7回元祖芋煮会 in 中山に参加